



平成 29 年 6 月 1 日

報道各位

**ACC グランプリはどの作品に！？日本最大級のアワード
「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」
本日 6 月 1 日よりエントリー受付開始**

～各界のクリエイターや著名人など多彩な審査委員が集結、6 部門にて作品を募集～

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟(略称：ACC、東京都港区、理事長：高田坦史)は、前身の ACC CM FESTIVAL を継承し今年で 57 回目を迎える「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」のエントリーを、本日 6 月 1 日（木）より開始します。

今年度は、既存のフィルム部門（A カテゴリー・テレビ CM／B カテゴリー・Online Film）、ラジオ CM 部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、インタラクティブ部門の 4 部門に、新設のメディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門を加えた、全 6 部門にて作品を募集いたします。

エントリー期間は、6 月 1 日（木）～7 月 3 日（月）18 時まで。作品の応募は、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにてユーザー登録後、マイページよりご応募いただけます。

入賞作品は、9 月 26 日（火）の記者発表の後、18 時頃同特設サイトにて全リストを掲出、11 月 1 日（水）の贈賞式・記念パーティにて表彰します。

■2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS 特設サイト：<http://www.acc-awards.com/>

なお、各部門の応募要項や審査委員長および審査委員など、「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」の概要は下記の通りです。

以上

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL：03-3500-3261 FAX：03-3500-3263

www.acc-cm.or.jp

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 担当：平川美穂

「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」概要

【部門構成】

- ・フィルム部門 A カテゴリー（テレビCM）／B カテゴリー（Online Film）
- ・ラジオCM部門
- ・マーケティング・エフェクティブネス部門
- ・インタラクティブ部門
- ・メディアクリエイティブ部門（新設）
- ・クリエイティブイノベーション部門（新設）

【審査委員長】

- ・フィルム部門 澤本 嘉光（電通 クリエーティブ・ボード／エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター）
- ・ラジオCM部門 嶋 浩一郎（博報堂ケトル 代表取締役社長）
- ・マーケティング・エフェクティブネス部門 矢野 絹子（KDDI コミュニケーション本部 宣伝部 部長）
- ・インタラクティブ部門 須田 和博（博報堂 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター）
- ・メディアクリエイティブ部門 小山薫堂（放送作家／脚本家／京都造形芸術大学副学長）
- ・クリエイティブイノベーション部門 暦本純一（東京大学教授／ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長）

※各部門の審査委員は別添。

【スケジュール概要】

■エントリー期間

6月1日（木）～7月3日（月）まで

- ・前期料金対象期間：6月1日（木）～6月19日（月）23：59まで
- ・後期料金対象期間：6月20日（火）～7月3日（月）18：00まで

■入賞作品発表

9月26日（火）に行われる記者発表の後、18：00頃「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにて全入賞作品リストを掲出します。

■贈賞式・記念パーティ

- ・日程：11月1日（水） ※時間未定
- ・会場：ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1F 「プロミネンス」
東京都港区赤坂 1-12-33

■入賞作品発表会

<東京発表会>

- ・日程：11月22日（水） ※時間未定
- ・会場：イイノホール&カンファレンスセンター
東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング

※地域発表会（東京以外の29カ所）は、東京発表会以降、2018年3月末まで開催予定。

【選考対象】**■フィルム部門：A カテゴリー（テレビ CM、地域テレビ CM）**

2016年7月1日～2017年6月30日までの間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。

■フィルム部門：B カテゴリー（Online Film）

2016年7月1日～2017年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。
初公開日は問わない。

■ラジオCM部門（ラジオCM、地域ラジオCM）

2016年7月1日～2017年6月30日までの間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。

■マーケティング・エフェクティブネス部門

2016年7月以降も継続している企画（キャンペーン）であること。かつ、以下のいずれか1つ以上の施策をおこなっていること。

※継続中のキャンペーンであれば、過去にエントリー歴のあるものも応募が可能です。その際は、過去にエントリーした際と、「成果」の違いを明確に示してください。

- ・2016年7月1日から2017年6月30日の間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局においてテレビCM、またはラジオCMが放送されたキャンペーン施策。
- ・2016年7月1日～2017年6月30日の間に、ムービーコンテンツ、サウンドコンテンツをWeb等で展開したキャンペーン施策。

■インタラクティブ部門

2016年6月1日～2017年6月30日の間にローンチもしくは、リニューアルして展開されたすべてのインタラクティブ広告・広告的取り組みを対象とします。

※2016年6月1日～6月30日の作品は、昨年応募されていないことが条件。

■メディアクリエイティブ部門

2016年1月1日～2017年6月30日の期間に実施された（放送または出稿された）、メディアのアセットを活用した仕掛けや取り組み。

■クリエイティブイノベーション部門

2016年1月1日～2017年6月30日の期間に上市または社会実装された、未来を作り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で生み出された、プロダクト&サービスとプロトタイプ。



【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催されてきた広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく広げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

2010 年にマーケティング・エフェクティブネス(ME)部門、2014 年にインタラクティブ部門、2017 年に、メディアクリエイティブ部門とクリエイティブイノベーション部門を創設。名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、総務大臣賞/ACC グランプリは、クリエイティブ業界で活躍する関係者の大きな目標となっています。

【ACC とは】

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 (ACC) は、よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に公益法人として設立。2013 年に一般社団法人へと移行しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・放送会社の 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に寄与すべく活動しています。



「2017 57th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」

各部門 審査委員一覧

(敬称略、審査委員は五十音順)

■フィルム部門

審査委員長

澤本 嘉光 (電通/クリエイティブ・ボード、エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

審査委員

秋山 竜次 (ロバート/お笑い芸人、タレント)

尾形 真理子 (博報堂/クリエイティブ・ディレクター、コピーライター)

川村 元気 (東宝/映画プロデューサー/小説家/絵本作家)

佐久間 宣行 (テレビ東京/プロデューサー)

佐々木 宏 (シンガタ/クリエイティブ・ディレクター)

佐藤 カズー (TBWA\HAKUHODO/CCO、Creative Director)

佐藤 雄介 (電通/CMプランナー、コピーライター)

篠原 誠 (電通/クリエイティブ・ディレクター)

多田 琢 (TUGBOAT/クリエイティブディレクター、CMプランナー)

田中 里沙 (宣伝会議/取締役メディア情報統括)

那須田 淳 (TBS テレビ/プロデューサー、事業局 映画・アニメ事業部 部長)

福部 明浩 (catch/クリエイティブディレクター、コピーライター)

藤井 亮 (電通関西/CMプランナー、ディレクター)

別所 哲也 (俳優/「ショートショート フィルムフェスティバル&アジア」代表)

細田 守 (スタジオ地図/映画監督)

吉岡 里帆 (女優)

■ラジオ CM 部門

審査委員長

嶋 浩一郎 (博報堂ケトル/代表取締役社長)

審査委員

秋吉 健太 (ヤフー/Yahoo!ライフマガジン編集長)

小宮山 雄飛 (GENIUS AT WORK 代表取締役/ホフディラン/渋谷区観光大使・クリエイティブアンバサダー)

澤本 嘉光 (電通/クリエイティブ・ボード、エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

東畑 幸多 (電通/グループクリエイティブ・ディレクター、CMプランナー)

西田 善太 (マガジンハウス/BRUTUS 編集長)

橋本 吉史 (TBS ラジオ/編成局制作部プロデューサー)

秀島 史香 (FM BIRD/ラジオ DJ、ナレーター)

福本 ゆみ (福本ゆみ事務所/コピーライター、クリエイティブディレクター/俳人)

細田 高広 (TBWA\HAKUHODO/シニアクリエイティブディレクター)

三井 明子 (アサツー ディ・ケイ/コピーライター、クリエイティブディレクター)

吉田 尚記 (ニッポン放送/ビジネス開発センター ネクストビジネス戦略部副部長)



■マーケティング・エフェクティブネス部門

審査委員長

矢野 絹子 (KDDI/コミュニケーション本部 宣伝部 部長)

審査委員

上野 隆信 (大塚製薬/ニュートラシューティカルズ事業部 宣伝部 課長)

幼方 聡子 (東レ/宣伝室長)

大越 いづみ (電通 ビジネス・クリエイション・センター/エグゼクティブ・ビジネス・クリエイション・ディレクター)

大高 香世 (VoiceVision/代表取締役社長)

木下 一郎 (電通/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

小和田 みどり (ライオン/宣伝部長)

清水 健 (アサツー ディ・ケイ/エグゼクティブ・クリエイティブディレクター、コピーライター)

能登 健裕 (東急エージェンシー/ソリューション本部 クリエイティブ局 局長 シニア・クリエイティブ・ディレクター)

藤井 久 (博報堂/執行役員(クリエイティブ担当))

山口 有希子 (日本アイ・ビー・エム/マーケティング&コミュニケーション デジタルコンテンツマーケティング部長)

■インタラクティブ部門

審査委員長

須田 和博 (博報堂/エグゼクティブ・クリエイティブディレクター)

審査委員

大八木 翼 (SIX/クリエイティブディレクター、共同執行責任者)

落合 陽一 (筑波大学 学長補佐、助教/Pixie Dust Technologies CEO)

倉又 俊夫 (日本放送協会 (NHK) /放送総局 デジタルコンテンツセンター 副部長)

小池 博史 (インタラクティブコミュニケーションエキスパーツ 理事長/イメージソース 代表取締役/ノングリッド 代表取締役)

齋藤 精一 (Rhizomatiks/Creative Director、Technical Director)

白井 明子 (ローソン/デジタルプラットフォーム部シニアマネジャー)

白土 謙二 (フリーランス/思想家)

菅野 薫 (電通 CDC グループ・クリエイティブ・ディレクター/Dentsu Lab Tokyo クリエーティブ・テクノロジスト)

田中 耕一郎 (PROJECTOR/クリエイティブディレクター)

刀田 聡子 (宣伝会議/月刊『ブレン』副編集長)

馬場 鑑平 (バスキュール/クリエイティブ・ディレクター)

横澤 大輔 (ドワンゴ/取締役 CCO)

■メディアクリエイティブ部門**審査委員長**

小山 薫堂

(放送作家/脚本家/京都造形芸術大学 副学長)

審査委員

佐藤 宏 (広島テレビ放送/報道制作局長)

嶋田 三四郎 (博報堂DYメディアパートナーズ/エクゼクティブマネージャー、
メディアコンテンツプロデューサー)

立本 洋之 (フジテレビジョン/編成局次長)

谷口 洋一 (テレビ朝日/営業局 メディアマーケティング部 部長)

村本 美知 (アサツー ディ・ケイ/コンテクトプランニング本部 リ・マーケティング局 局長)

森川 亮 (C Channel/代表取締役)

森田 太 (エフエム東京 執行役員 編成局長/グランド・ロック 代表取締役)

湯川 昌明 (電通/ラジオテレビ局 局長補)

和田 龍夫 (サントリーコミュニケーションズ/執行役員 宣伝・デザイン本部 副本部長 兼 宣伝部長)

和田 直樹 (トヨタマーケティングジャパン/メディアプランナー)

■クリエイティブイノベーション部門**審査委員長**

暦本 純一 (東京大学 教授/ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長)

審査委員

安宅 和人 (ヤフー/CSO (チーフストラテジーオフィサー))

池澤 あやか (タレント/クリエイター)

稲田 雅彦 (カブク/代表取締役 CEO)

井上 裕太 (\QUANTUM/Startup Studio 事業責任者)

佐々木 紀彦 (ニュースピックス/編集長、取締役)

佐々木 康晴 (電通/第4CR プランニング局長、デジタル・クリエイティブ・センター長、
エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

鈴木 雅穂 (トヨタ自動車/未来プロジェクト室 室長)

野添 剛士 (SIX/クリエイティブディレクター、代表取締役)

深田 昌則 (パナソニック/アプライアンス社 Game Changer Catapult 代表)

朴 正義 (バスキュール/代表取締役、クリエイティブディレクター)

森岡 東洋志 (ワン・トゥー・テン・ドライブ/CTO、テクニカルディレクター)

以上